

第143回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成27年第3四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成27年6月29日～平成27年9月27日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は236件（前回報告267件、前年同時期291件）
そのうち男性223件、女性13件で、男性は前回（254件）及び前年同時期（279件）より減少、女性は前回（13件）と同数、前年同時期（12件）より増加
3. 新規AIDS患者報告数は103件（前回報告118件、前年同時期119件）
そのうち男性98件、女性5件で、男性は前回（114件）及び前年同時期（112件）より減少、女性は前回（4件）より増加、前年同時期（7件）と減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は339件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが178件（全HIV感染者報告数の約75%）
 - 異性間性的接触によるものが39件（全HIV感染者報告数の約17%）
そのうち男性29件、女性10件
 - 静注薬物によるものは1件（うち、その他に計上されているものが1件）
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、20～40代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが60件（全AIDS患者報告数の58%）
 - 異性間性的接触によるものが23件（全AIDS患者報告数の22%）
そのうち男性20件、女性3件
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、40代前後が多い。

【検査・相談件数の概況（平成27年7月～9月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は22,043件
（前回報告速報値24,030件、前年同時期確定値26,275件）
自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は7,292件
（前回報告速報値7,540件、前年同時期確定値7,786件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は31,630件
（前回報告速報値34,658件、前年同時期確定値36,673件）

【献血の概況（平成27年1月～9月）】

1. 献血件数（速報値）は、3,670,194件（前年同時期速報値3,759,951件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は35件（前年同時期速報値50件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、0.954件（前年同時期速報値1.330件）

《まとめ》

1. 前回に比し、新規H I V感染者報告数、新規A I D S患者報告数は減少した。
2. 新規H I V感染者報告数の感染経路は同性間性的接触に集中しており、今回累計が10,000件を上回った。
3. 新規H I V感染者は20~40代、新規A I D S患者は40代前後で報告数が多いが、幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
4. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名H I V抗体検査および相談を積極的に利用していただきたい。
5. 12月1日は世界エイズデーである。治療の進歩により、社会では既に多くのH I V陽性者が、働き、学び、生活している。H I V/A I D Sは過去の問題ではなく、一人ひとりが今、具体的な行動を取ることが重要であることから、本年度は「A I D S IS NOT OVER だから、ここから」がテーマとして策定された。ぜひ何ができるのかを考える機会にして頂きたい。